

Borland®

Silk Central 16.0

リリースノート

**Borland Software Corporation
700 King Farm Blvd, Suite 400
Rockville, MD 20850**

Copyright © Micro Focus 2015. All rights reserved. Silk Central は Borland Software Corporation に由来する成果物を含んでいます, Copyright © 2015 Borland Software Corporation (a Micro Focus company).

MICRO FOCUS, Micro Focus ロゴ、及びその他は Micro Focus IP Development Limited またはその米国、英国、その他の国に存在する子会社・関連会社の商標または登録商標です。

その他、記載の各名称は、各所有社の知的所有財産です。

2015-02-13

目次

Silk Central 16.0 リリース ノート	4
Silk Central 16.0 の新機能	5
キーワード駆動テスト	5
Eclipse BIRT Designer 4.4.0	5
統合の強化	5
IBM Rational DOORS 9.6 のサポートと DOORS サポートの無設定化	6
VMware vCloud Director 5.5 のサポート	6
Bugzilla 4.4.6 のサポート	6
Git 2.2.0 のサポート	6
Rally のカスタム フィールドの同期と API キーのサポート	6
PVCS および UNC ソース管理における完全な 64 ビット サポート	6
使用技術の更新	6
サポートされなくなる機能	8
将来のリリースではサポートされなくなる機能について	9
テスト済みおよびサポートされているソフトウェア	10
システム要件および前提条件	12
Micro Focus へのお問い合わせ	14
Micro Focus SupportLine が必要とする情報	14

Silk Central 16.0 リリースノート

バージョン 16.0

2015年3月

以下の注記には、ヘルプには記載されていない重要な情報が含まれている場合があります。注記にはすべて目を通してください。

インストール、デプロイメント、およびライセンス管理に関する情報については、『[Silk Central インストールヘルプ](#)』を参照してください。

さらに支援が必要な場合は、[カスタマーケア](#) にアクセスしてください。

Silk Central 16.0 の新機能

Silk Central 16.0 では、大幅な機能拡張と変更が導入されました。

キーワード駆動テスト

Silk Central 16.0 で、キーワード駆動テスト手法が導入され、構造化プロセスで手動テストから自動テストに変換することができるようになりました。

キーワード駆動テストは、テスト開発からテスト設計を分離するソフトウェアテスト手法です。このため、テスト自動化プロセスにビジネスアナリストなどの専門家を含めることができます。Silk Central と Silk Test はキーワード駆動テストをサポートしており、Silk Test のキーワードの形式での共有資産として構成されるメンテナンス可能な自動化フレームワークを自動化エンジニアが開発することによって、自動化エンジニアとビジネスアナリスト間で密接な共同作業を行うことができます。その後、これらのキーワードは、Silk Test で新しいキーワード駆動テストを作成したり、Silk Central で既存の手動テスト資産を自動テストに変換したり、新しいキーワード駆動テストを作成するために、ビジネスアナリストが使用することができます。キーワード駆動テストは、キーワードのシーケンスです。キーワード駆動テストは、他のテストと同様に再生することができます。

キーワード駆動テスト手法を使用する利点を次に示します。

- キーワード駆動テストを使用すると、テスト自動化とテストケースのデザインが分離され、うまく分業できるようになり、キーワードを実装するテストエンジニアとテストケースをデザインする専門家が共同作業できます。
- テスト対象アプリケーションにアクセスすることなく、初期の段階からテストを開発でき、後からキーワードを実装できます。
- プログラムの知識がなくてもテストを開発できます。
- キーワード駆動テストは、長期的に見るとメンテナンスコストを低減できます。キーワードのメンテナンスが必要で、これらのキーワードを使用するすべてのキーワード駆動テストは自動的に更新されます。
- テストケースが簡潔です。
- 技術者でなくてもテストケースが読みやすく、理解しやすくなります。
- テストケースの変更が簡単です。
- 既存のキーワードを再利用して新しいテストを再利用できます。これにより、より広範囲なテストカバレッジを実現しやすくなります。
- キーワード実装の内部的な複雑性を、キーワード駆動テストを作成または実行するユーザーに対して隠蔽できます。

Eclipse BIRT Designer 4.4.0

Silk Central の統合レポートツールが、Eclipse BIRT Designer 4.4.0 にアップグレードされました。

統合の強化

このセクションは、Silk Central で行った統合の強化の一覧を提供します。

IBM Rational DOORS 9.6 のサポートと DOORS サポートの無設定化

Silk Central 16.0 は、IBM Rational DOORS 9.6 をサポートするようになりました。

Silk Central 16.0 は、IBM Rational DOORS のサポートを簡単に実現でき、DOORS のインストールをカスタマイズする必要はありません。ただし、Silk Central 15.5 以前からアップグレードする場合や、カスタマイズした dxi ファイルを使用している場合は、Silk Central のインストール フォルダにある lib¥dxi フォルダのすべての dxi ファイルをカスタマイズした dxi ファイルで上書きする必要があります。

VMware vCloud Director 5.5 のサポート

Silk Central 16.0 では、VMware vCloud Director 5.5 をサポートするようになりました。

Bugzilla 4.4.6 のサポート

Silk Central 16.0 が Bugzilla 4.4.6 をサポートするようになりました。

Git 2.2.0 のサポート

Silk Central 16.0 では、Git 2.2.0 をサポートするようになりました。

Rally のカスタム フィールドの同期と API キーのサポート

Rally のカスタム フィールドが、Rally 統合の設定でその名前を指定することで、Silk Central と同期できるようになりました。さらに、ユーザー名とパスワードを使用する代わりに、API キーを使って Rally サブスクリプション データにアクセスできるようになりました。Rally API キーに関する情報は、『[Rally Application Manager](#)』 ページを参照してください。

PVCS および UNC ソース管理における完全な 64 ビットサポート

Serena Version Manager (PVCS) および UNC ソース管理は、64 ビット モードでフロントエンド サーバーが実行されている場合でも完全にサポートされるようになりました。

Silk Central 15.5 までの次の制限事項は、バージョン 16.0 ではありません。

- Serena Version Manager (PVCS) : フロントエンド サーバー サービスをシステム アカウントではなく、ユーザー アカウントで実行する必要があります。
- UNC ソース管理 : 認証できません。

使用技術の更新

Microsoft SQL Server 2012 サービス パック 2 および Microsoft SQL Server 2014 のサポート

Silk Central では、Microsoft SQL Server 2012 サービス パック 2、および Microsoft SQL Server 2014 がサポートされるようになりました。

Oracle 12c Patch Set 1 のサポート

Silk Central では、Oracle 12c Patch Set 1 (バージョン 12.1.0.2) がサポートされるようになりました。

Microsoft Windows 8.x および Microsoft Windows Server 2012 の .NET コード分析のサポート

Silk Central では、Microsoft Windows 8.x および Microsoft Windows Server 2012 の .NET コード分析がサポートされるようになりました。

Java 8 でコンパイルされた JUnit テスト

Silk Central では、Java 8 でコンパイルされた JUnit テストの実行がサポートされるようになりました。

Silk Central データベースの更新 (Microsoft SQL Server のみ)

いくつかの Microsoft SQL Server データ型が新しいデータ型に移行されました (たとえば、ntext、text、image は、それぞれ nvarchar(max)、varchar(max)、varbinary(max) に移行されました)。以前使用されていたデータ型は廃止される予定で、これらの新しいデータ型によって DBMS のパフォーマンスは改善されます。



注: 既存のデータベースは、接続した際に現行バージョンへと自動的に更新されます。この処理には、データベースのサイズによっては、数分から数時間までかかる場合があります。デフォルトでは、データ型の移行はデータベースに書き込まれる新しいデータにのみ適用されます。既にデータベースに存在する古いデータタイプを使っているデータは変更されないため、パフォーマンスの改善は見込めません。既存のデータのデータ型も移行したい場合は、カスタムケア (<http://support.microfocus.com>) にお問い合わせください。

サポートされなくなる機能

このトピックでは、Silk Central 16.0 ではサポートされなくなる機能を示します。

Microsoft Windows XP、Microsoft Windows Vista、Microsoft Windows Server 2003/2003 R2 および IIS 6

Microsoft Windows XP、Microsoft Windows Vista、Microsoft Windows Server 2003/2003 R2 および IIS 6 は、Silk Central 16.0 でサポートされません。

Oracle 10g

Oracle 10g は、Silk Central 16.0 でサポートされません。

RequirementsDocumentsService Web サービス

RequirementsDocumentsService Web Service (/services/tmrequirementsdocuments) は、Silk Central 16.0 でサポートされません。代わりに、常時保守されている Requirements Web サービスを使用してください。

将来のリリースではサポートされなくなる機能について

このセクションでは、将来のリリースではサポートされなくなる予定の Silk Central の機能を示します。

Serena Version Manager (PVCS)

将来のリリースでは、Serena Version Manager (PVCS) はサポートされなくなる予定です。

データ駆動型オプション

将来のリリースでは、異なる入力データを用いたテストを実行する機能が簡略化されます。異なるデータの行は **テスト** 領域で表示されなくなり、結果領域のみで表示されるようになります。失敗した単一データ行を再実行することは可能です。

リンクされたテスト コンテナ

将来のリリースでは、リンクされたテスト コンテナは削除されます。Silk Central におけるこの機能の主な目的は、Silk Test Classic 計画ファイルのインポートをサポートすることでしたが、テスト パッケージ機能を使用することによって、実行するたびに Silk Central のテスト構造が更新されるためメンテナンス作業を軽減することができ、より良く Silk Test Classic 計画ファイル テスト タイプをサポートすることができます。

混在した実行計画

将来のリリースでは、自動実行計画で 1 つの実行計画に自動テストと手動テストを混在させることはサポートされなくなります。手動テストと自動テストのより洗練された組み合わせは、依存関係によって実現可能です。

テスト済みおよびサポートされているソフトウェア

このセクションでは、Silk Central16.0 がテストされたソフトウェア、および Silk Central がサポートするソフトウェアの一覧を示します。

サポートするオペレーティング システム

- Microsoft Windows Server 2008 R2 サービス パック 1 64 ビット
- Microsoft Windows Server 2012
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows 7 32 ビット/64 ビット サービス パック 1 (実行サーバー)
- Microsoft Windows 8 32 ビット/64 ビット (実行サーバー)
- Microsoft Windows 8.1 32 ビット/64 ビット (実行サーバー)

サポートする Linux オペレーティング システム

Silk Central は、Linux オペレーティング システムを実行サーバーに限りサポートします。

- Debian
- Redhat Enterprise Linux
- Suse Linux
- Ubuntu

サポートする Web ブラウザ

- Google Chrome
- Internet Explorer 10 以降 (互換モード以外)
- Mozilla Firefox

サポートする Web サーバー

- IIS 7 32 ビット/64 ビット
- IIS 8 32 ビット/64 ビット
- Tomcat

サポートするデータベース管理システム

- Microsoft SQL Server 2008 R2 サービス パック 2
- Microsoft SQL Server 2012 サービス パック 2
- Microsoft SQL Server 2014
- Oracle 11g (バージョン 11.2.0.4)
- Oracle 12c (バージョン 12.1.0.2)

サポートする統合された Micro Focus ソフトウェア

- CaliberRM 10.1、10.2
- Caliber 11.3、11.4
- Silk Performer 15.5、16.0
- Silk Test 15.5、16.0

- StarTeam 14.3
- Silk TestPartner 6.3

サポートする統合されたサードパーティ ソフトウェア

- Apache Commons Virtual File System (VFS)
- Atlassian JIRA 5、6
- Atlassian JIRA Agile 6
- Bugzilla 4.4.6
- Compuware Quality Manager (Changepoint 2010 SP1、Changepoint 2009、Changepoint 2009 SP2)
- Git 2.2.0
- IBM Rational ClearQuest 8.0
- IBM Rational DOORS 9.5、9.6
- IBM Rational RequisitePro 7.1.3、7.1.4
- JUnit 4.11 以降
- Microsoft Office Excel (.xlsx) (テストと要件のインポート用)
- Microsoft Visual Studio/Visual Studio Test Agent 2010、2012、2013
- Microsoft Office Word (.doc、.docx) (要件のインポート用)
- Rally
- SAP Solution Manager 7.1
- Serena Version Manager (PVCS) 8.1.4 (Version Manager 8.1.4)
- Subversion 1.8.5
- Team Foundation Server 2010、2012、2013
- VersionOne Enterprise Edition
- VMware vCloud Director 5.5

システム要件および前提条件

Silk Central の最適なパフォーマンスのために、このセクションで概要を説明する構成をお勧めします。自作機 (ベアボーンキット、ショップ ブランド機を含む) は動作保証外です。

サーバー システムの要件

システム領域	要件
CPU	Intel Core i5、またはより高性能な CPU
メモリ	最低 6 GB
空きディスク容量	最低 30 GB、データベース サーバーを除く
ネットワーク	100 Mbit
オペレーティング システム、 データベース管理システム、 Web サーバー	テスト済みおよびサポートされているソフトウェア を参照してください。
電源供給	停電時のリスクを減少するため、すべての環境に対する無停電電源装置 (UPS)



注: Silk Central をエンタープライズ システムとしてインストールするには、Silk Central の各サーバーを個別のマシン上にインストールします。これらサーバーには、アプリケーション サーバー、フロントエンド サーバー、チャート サーバー、実行サーバー、および、データベース システムなどが含まれます。この方法については、『*Silk Central 16.0* インストール ヘルプ』の「カスタム インストール」に概要が記載されています。これらのコンポーネントは、好きな組み合わせで、複数のマシン上にインストールすることが可能です。

Silk Central の最適な構成の詳細については、テクニカル サポートまたはテクニカル アカウント チームに問い合わせてください。

実行サーバーの要件

実行サーバーに対する実際の要件と前提条件は、テスト対象のアプリケーション (AUT) やテストのタイプに依存します。

負荷テストについては、Silk Performer の環境要件を参照してください。最小限の構成での負荷テストは、不正確な結果につながります。

機能テストについては、Silk Test の環境要件を参照してください。Web ブラウザのリプレイなど、集中的なテストについては、最小 2048 MB のメイン メモリが推奨されます。

Linux 実行サーバーは、Java Runtime Environment (JRE) 8 が必要です。

仮想化

Silk Central は仮想インフラストラクチャ環境 (VMware vSphere サーバー) での実行がテストされています。

クライアント側のシステム要件

システム領域	要件
プロセッサ	Intel Core i3、またはより高性能な CPU
メモリ	2 GB

システム領域	要件
Web ブラウザ	<ul style="list-style-type: none">• Google Chrome• Internet Explorer 10 以降 (互換モード以外)• Mozilla Firefox

手動テスト UI は、Java Runtime Environment (JRE) 7 Update 51 以降が必要です。

Micro Focus へのお問い合わせ

Micro Focus は、世界的規模のテクニカル サポートおよびコンサルティング サービスを提供します。すべての顧客のビジネスを成功に導くために、信頼できるサービスをタイムリーに提供するように、Micro Focus はワールドワイドのサポート体制を整えています。

保守およびサポート契約を結んだすべてのお客様、および製品を評価中のお客様は、カスタマー サポートを受けることができます。高度なトレーニングを積んだスタッフが、お客様の質問にできる限り迅速かつ専門的にお答えします。

<http://supportline.microfocus.com/assistedservices.asp> にアクセスするか、またはメールを supportline@microfocus.com に送信して、Micro Focus SupportLine と直接連絡できます。

また、<http://supportline.microfocus.com> の Micro Focus SupportLine では、最新のサポートに関するニュースや、さまざまなサポート情報を得ることができます。このサイトに初めてアクセスした場合は、ユーザー登録が必要な場合があります。

Micro Focus SupportLine が必要とする情報

Micro Focus SupportLine をご利用の場合は、可能な限り次の情報を提供ください。情報が多ければ多いほど、Micro Focus SupportLine はお客様に適切なサービスを提供できます。

- 問題の原因と思われるすべての製品の名前およびバージョン番号
- 使用しているコンピュータの製造元およびモデル
- システム情報 (オペレーティング システムの名前やバージョン、プロセッサやメモリの詳細など)
- 問題の詳細な説明 (問題の再現手順など)
- 発生したエラー メッセージ
- お客様のシリアル番号

これらの番号は、Micro Focus から受け取った 電子メールの件名および本文に記述されています。